

1 事業名 平成26年度教育事業 「体験の風をおこそう」運動協賛事業
通学合宿「テンちゃん一家の一週間」

2 趣 旨

日常の家庭生活とは切り離れた環境で、異なる学校・学年同士での共同生活や学習活動を行い、人と関わる力や集団生活のマナー、基本的な生活習慣の育成を図る。

3 期 日 平成26年11月9日（日）～11月15日（土）

4 参加者 滝沢市立滝沢第二小学校・滝沢東小学校4～6年生 41名
（4年生 14名 5年生 11名 6年生 16名）

5 連携・協力 滝沢市教育委員会、滝沢市立滝沢第二小学校、滝沢市立滝沢東小学校

6 内 容

(1) 日 程

11月9日 (日)	日	※バス 送迎希 望者	14:30	14:40	15:00	15:30	15:45	16:00	17:30	18:15	19:00	20:00	20:50	21:10	21:30	
			滝沢東小 学校発	滝沢第二小 学校発	受付	はじめの 会	オリエン テー ション	アイスブレイク ふおとラリー	ベッドメイク 荷物整理等	夕食	一週間のめあてづくり	入浴	ふりかえり 活動	就寝準備	就寝	
11月10日 (月)	月	6:15 起床	6:50 朝の つど い 朝食	通 学 中				16:00頃	17:00	18:00	18:15	19:00	20:00	20:50	21:10	21:30
								16:00頃	17:00	18:00	18:15	19:00	20:00	20:50	21:10	21:30
11月11日 (火)	火	6:15 起床	6:50 朝の つど い 朝食					16:00頃	17:00	18:00	18:15	19:00	20:00	20:50	21:10	21:30
11月12日 (水)	水	6:15 起床	6:50 朝の つど い 朝食					16:00頃	17:00	18:00	18:15	19:00	20:00	20:50	21:10	21:30
11月13日 (木)	木	6:15 起床	6:50 朝の つど い 朝食					15:00頃	15:30	17:00	18:15	19:00	20:00	20:50	21:10	21:30
11月14日 (金)	金	6:15 起床	6:50 朝の つど い 朝食					16:00頃	17:00	18:00	18:15	19:00	20:00	20:50	21:10	21:30
11月15日 (土)	土	6:30 起床	7:00 朝の つど い 朝食	8:20	8:45	9:20	10:30	11:35-45								
				清掃活動	退所点検	成果発表 ふりかえり活動 アンケート記入	おわりの会	滝沢東小一 滝沢第二小着								

(2) 指導者

- ・生活・学習指導全般、交流の時間の指導 国立岩手山青少年交流の家職員・法人ボランティア
- ・科学実験 岩手大学地域連携推進室

(3) 企画のポイント

生活及び家庭学習の習慣を形成するために、日課を固定し、きめ細やかな指導ができるように学生のボランティアスタッフを配置した。また、人とかかわる力や集団生活のマナーを学びながら、意欲を持続させるために交流学習の時間を設定し、職員が担当した。

また、調査研究として、小学生及び大学生スタッフに対して事業前後にアンケートを実施し、事業後に保護者に対してアンケートを実施し個々の変容や事業の有効性を探るよう企画した。

(4) 広報のポイント

各学校には、年度初めの4月に行われたPTA総会にそれぞれ参加し、事業の趣旨や内容の説明と広報を行った。過去の事業の様子をスライドショーで紹介し、事業内容がイメージしやすいようにした。また、アンケート結果や事業の成果についてPRした。9月の滝沢市校長会にも出席し、事業の様子やアンケート結果、事業の成果を説明した。企画段階においては、各学校との綿密な

日程調整を行い、協力を得ながら企画を進め、事業1か月前には4～6年生にチラシを配布した。

(5) 運営のポイント

職員やボランティアスタッフが児童に深くかかわりながらも、生活の基盤となる「衣・食・住」を児童自らの力で取り組み、体験できるようにした。「衣」では、毎日、自身の衣服の管理や整頓をするようにし、事業の中盤には洗濯も取り入れた。「食」では、朝夕のバイキング形式の食事の体験をとおして、栄養のバランスを考えた食事となるように目配りした。特に、過食や少食、偏食などに留意した。「住」では、家庭学習や班活動など全員で使用する研修室や生活の拠点となる宿泊室、浴室、レストラン等の整理整頓を常に意識するようにし、特に宿泊室については、オリエンテーションで説明し、下校後や就寝前には、ボランティアスタッフが中心となって、必要に応じて児童に声掛けをした。

登下校時の安全確保と健康面における配慮として、通学バスにはスタッフが同乗し児童の掌握及び乗下車時の安全確保を行った。健康観察は朝と就寝前に行い、体調や排便の有無、薬の服用について聞き取りをするとともに、必要に応じて学校と連絡を取り合った。生活面では、一週間の約束を「家訓」として提示し、毎日の「ふりかえり」に盛り込みながら定着を図った。合宿後半には自分たちの成長を意識させながら、班毎の「家訓作り」を行い、家庭に帰ってからもめあてとして継続するようにした。

児童の就寝後にスタッフミーティングを設定し、共有すべき内容や児童への対応に関する悩みを出し合い、その対策を話し合う場とした。その後の個々の「ふりかえり」も含め、短時間に効率よく実施することでスタッフの睡眠時間を確保した。

7 成果とその普及

一週間をとおして、下校バス到着後すぐに家庭学習の時間を設定したことにより、落ち着いて学習に取り組む姿が見られた。児童からも「いつもよりも集中して勉強ができた」という感想が聞かれた。

生活に関しては、「衣・食・住」を自らの力で取り組ませたことにより、「バランスの良い食事ができたし、自分のことは自分でできるようになった」という児童の声が聞かれた。また、集団生活の約束事を「家訓」として提示し、「ふりかえり」や評価の方法を工夫したことにより、児童への浸透が見られ、ねらいとしている基本的な生活習慣の定着につながった。

参加児童とその保護者、ボランティアスタッフに対して行ったアンケートは一昨年度実施の鶴飼小学校、昨年度実施の鶴飼小学校・滝沢東小学校から蓄積しており、3年目を迎えた今年度に報告書としてまとめ、事業の成果を広めたい。

8 今後の課題

二校合同での通学合宿は今回が初めてである。今回の事業の趣旨としては十分な成果を上げることができたと感じているが、来年度以降を見越し、人と関わる力や集団生活のマナー、基本的な生活習慣の育成のほか、学校の多様な課題に目を向ける必要があると考える。学校や保護者からのアンケートを分析しながら事業を発展させたい。



学習をしている様子



エコローソクづくり



洗濯の様子